

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 004

事務事業名称	消防団運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	危機管理部			課	危機管理対策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち									
	実行計画名	1-1.防災体制の充実									

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	消防組織法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市消防団及び消防団員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	災害時に備え、常備消防に協力して市民の生命・身体及び財産を火災等の災害から守る消防団の充実強化を図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	消防団員数の増加等により消防団組織力が強化されている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員が火災などの出動及び訓練や啓発活動を行ったときの費用弁償の支払い</li> <li>車両の整備・更新や活動服等の貸与を通じた装備面の充実</li> <li>消防団幹部会議の運営に対する事務的なサポート等を行い、消防団の円滑な運営を図り災害時に備え消防力の充実強化を推進する。</li> </ul>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						消防団の運営が円滑に進み、活動が活発化する。				消防団の運営に係る事務を実施する。			
指標設定	指標説明					消防団員の訓練や啓発活動の従事人数				消防団幹部会議の運営事務(開催回数)			
	指標種類					単位	人	単位	回				
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					7,000	7,100	7,200	7,300	7	7	7	7
	実績					1,014	3,478	7,488		7	7	7	
達成度					104%				100%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.36
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	21,053	17,516	10,624		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	21,053	17,516	10,624		
物件費計	76,352	40,292	23,769	22,803	104.2%	
歳出計	97,405	57,808	34,393			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,915	3,587	45	65	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,915	3,587	45	65	
一般財源（物件費に充当されるもの）	74,437	36,705	23,724	22,738		

### 5. 総括的分析

総括的分析	消防団管理運営事務については年間を通して適切に実行できた。年々減少する消防団員の「団員確保」と言う課題解消のため休団制度を創設した。今後は引き続き消防団と連携しながら消防団のイメージアップや若者が入団しやすい工夫等についての研究が必要である。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も様々な場面で消防団のPRを行うとともに、団員確保に向け様々な工夫をしていく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 006

事務事業名称	防災備蓄倉庫施設維持管理事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	危機管理部			課	危機管理対策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		1.災害に対する備えができているまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1990(H2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	災害対策基本法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	調査・動員・物資・対策班及び危機管理室の職員			
	サブターゲット	自然災害の発生に備え、市民全員を対象としている。			
	ターゲットが抱える課題	災害時に、必要な食料や資材を市民に円滑に提供するため既存の防災倉庫を適切に維持管理する必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	大規模災害発生時に遅滞なく、安全に防災備蓄倉庫から必要物資を搬出することができる。				
事業概要	<p><b>【施設の概要】</b>            名称:枚方市防災備蓄倉庫            所在地:枚方市朝日丘町2番17号建築            面積:約180㎡            延床面積:約360㎡            建築構造:鉄骨造2階建</p> <p><b>【活動の概要】</b>            ・警備委託 ・電気設備委託 ・昇降機設備管理委託</p>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			防災備蓄倉庫が適正に維持管理されている。				防災備蓄倉庫の保守点検等を行う。				
指標設定	指標説明		修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 <b>【決算額/当初予算額×100】</b>				防災備蓄倉庫の保守点検等を月1回程度行う。				
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		100以内	100以内	100以内	100以内	12	12	12	12
	達成度		92%				100%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.79
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,257	7,857	6,171		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,257	7,857	6,171		
	物件費計	5,659	1,498	6,366	6,942	91.7%
	歳出計	12,916	9,355	12,537		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	5,659	1,498	6,366	6,942	

### 5. 総括的分析

総括的分析	防災備蓄倉庫について適切に設備の維持管理を行った。倉庫内にある備蓄品等についても整理を行い、災害時に円滑に活用できるよう適正に管理を行った。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、維持管理に努める。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 007

事務事業名称	枚方寝屋川消防組合負担金交付事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	危機管理部			課	危機管理対策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1948(S23)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方寝屋川消防組合格約				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方寝屋川消防組合			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	本市における総合的消防力(消防・救急・予防)を整備強化するため枚方寝屋川消防組合との連携強化を図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方寝屋川消防組合との連携強化により本市における総合的消防力が高まっている状態。				
事業概要	枚方寝屋川消防組合への運営負担金の支払及び派遣職員(2人)に係る人件費負担金の支払を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						枚方寝屋川消防組合との連携強化により総合的消防力が高まる。				枚方寝屋川消防組合への運営負担金及び派遣職員(2人)に係る人件費負担金を交付する。			
指標設定	指標説明					年間の負担金交付金額の当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				年間の負担金交付回数			
	指標種類					減少することが良いとされる指標							
	指標数値					単位	%			単位	回		
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					100以内	100以内	100以内	100以内	14	14	14	14
達成度					100%				0%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.16
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,595	1,571	1,250		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	1,571	1,250		
物件費計	4,214,911	4,257,893	4,353,595	4,353,596	100.0%	
歳出計	4,216,506	4,259,464	4,354,845			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	1,700	1,182	1,081	1,602	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,700	1,182	1,081	1,602	
一般財源（物件費に充当されるもの）	4,213,211	4,256,711	4,352,514	4,351,994		

### 5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度枚方寝屋川消防組合負担金年間収入計画に基づき、月例処理を適正に執行した。今後も遅延なく、月例処理の執行を適切に行うとともに、枚方寝屋川消防組合予算の動き(補正)等も注視しておく。また、日頃から枚方寝屋川消防組合との連携強化に努め、本市の防災力・消防力を高めていく。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、枚方寝屋川消防組合との連携強化に努める。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 008

事務事業名称	自主防災組織育成事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	危機管理部			課	危機管理対策推進課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができていくまち									
	実行計画名	1-1.防災体制の充実									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1997(H9)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	災害対策基本法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内各校区の自主防災組織			
	サブターゲット	市内各自治会の自主防災組織			
	ターゲットが抱える課題	自主防災組織の活動を充実させるには、防災訓練の支援や防災情報の提供等(先進事例の共有)が必要である			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全ての校区(校区を構成する自治会)の自主防災活動が活発に行われ、地域の防災力が向上している。				
事業概要	<p>枚方寝屋川消防組合等と連携し、自主防災組織等行う防災訓練や避難所運営訓練等に対し支援を行う。「枚方市自主防災組織ネットワーク会議」を開催し、自主防災組織、枚方市及び防災関係機関が防災情報等を交換する場を設け、自主防災組織の育成、地域の自主防災活動の推進を図る。</p> <p>また、地域防災力を高めるためには、地域で支援し合えるよう、あらかじめ準備し、その実効性を高めることが必要であり、自治会館の避難所利用の支援等を通して、共助の活動を活性化し、災害対策基本法が規定する地区防災計画の策定を推進していく。</p>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		地域の防災力が向上する。				自主防災組織の活動が活発に行われる。				自主防災組織等が行う防災訓練や避難所運営訓練等を支援する。			
指標設定	指標説明	各校区の自主防災訓練の訓練参加者数				各校区の自主防災訓練の実施回数(延べ回数)				各校区で行われる自主防災訓練の際の支援(資器材の貸し出しや消防関係との調整等も含む)。			
		単位		人		単位		回		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)	9,000	9,000	9,500	9,500	48	48	50	50	60	60	60
	実績	714	1,712	4,209		21	29	28		21	29	28	
	達成度	44%				56%				47%			
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		地域の防災力が向上する。				自主防災組織と枚方市及び防災関係機関による情報交換が活発に行われる。				枚方市自主防災組織ネットワーク会議を開催する。			
指標設定②	指標説明	各校区の自主防災訓練の訓練参加者数				枚方市自主防災組織ネットワーク会議 参加校区数				枚方市自主防災組織ネットワーク会議の開催回数			
		単位		人		単位		校区		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)	9,000	9,000	9,500	9,500	45	45	45	45	2	2	2
	実績	714	1,712	4,209		45	45	38		2	2	2	
	達成度	44%				84%				100%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		地域の防災力が向上する。				各校区、自治会で地区防災計画を策定する				地区防災計画の策定を支援する			
指標設定③	指標説明	各校区の自主防災訓練の訓練参加者数				地区防災計画策定数(校区、自治会)(累計)				地区防災計画の策定支援件数(累計)			
		単位 人				単位 件				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	9,000	9,000	9,500	9,500	4	22	42	64	4	22	42	64
	実績	714	1,712	4,209		0	22	45		3	22	45	
達成度	44%				107%				107%				
ロジックモデル④		地域の防災力が向上する。				災害時に、自治会の地区防災計画に基づき届出避難所が開設される。				自治会館の避難所利用を希望する自治会から届出書及び地区防災計画を受理し、支援物資などを提供する。			
指標設定④	指標説明	各校区の自主防災訓練の訓練参加者数				枚方市が発令した避難情報(土砂・各河川)に該当する届出避難所のうち、実際に開設に至った届出避難所の割合				届出避難所登録制度に基づく支援自治会件数			
		単位 人				単位 %				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	9,000	9,000	9,500	9,500	-	100	100	100	-	10	12	14
	実績	714	1,712	4,209		-	0	0		-	13	14	
達成度	44%				0%				117%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.95
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	9,570	9,428	7,421		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,570	9,428	7,421		
	物件費計	260	251	209	280	74.6%
歳出計	9,830	9,679	7,630			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)	260	251	209	280		

### 5. 総括的分析

総括的分析	地区防災計画策定については延べ45の校区、自治会で策定することができた。自主防災訓練(総合訓練、個別訓練)については、「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設・運営訓練」等の実施に伴い訓練参加者数が1,712人から4,209人に大幅に増加した。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、地区防災計画の策定支援を進めるとともに、訓練や防災講座等の活動を行っていない校区への呼びかけも行っていく。



# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 009

事務事業名称	地域防災推進員育成事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	危機管理部			課	危機管理対策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち									
	実行計画名	1-1.防災体制の充実									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2010(H22)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内各校区の自主防災組織からの選出者及び一般公募による参加者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	自助・共助による防災対策の重要性を地域全体に普及させる役割を担い、災害時に救助や消火等を実施する人材育成の機会が必要			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	自助・共助による防災対策の重要性が地域全体に普及され、災害時の救助や消火等を地域住民が率先して行っている状態。				
事業概要	各校区自主防災組織の選出者と一般公募による参加者を対象に、防災に関する知識と技能を習得するための外部講師による座学や、消防吏員の指導による救出・救助用資機材や消火器の取扱い方法などの実技を行う、地域防災推進員育成研修会を開催する。  【地域防災推進委員】地域住民一人ひとりの防災対策の重要性を地域全体に普及するとともに、いざという時には自助・共助の精神で人命救助や応急消火等を行える人材を育成し、継続的かつ効果的な地域防災力の向上を目指す。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		自助・共助による防災対策の重要性が地域全体に普及される。				地域防災推進員育成研修会の修了生が増加する。				地域防災推進員育成研修会を開催する。			
指標設定	指標説明	地域防災推進員育成研修会修了者数【累計】				地域防災推進員育成研修会の修了者数				地域防災推進員育成研修会の開催回数			
		単位		人		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	950	1,040	1,130	1,220	90	90	90	90	1	1	1	1
実績	803	838	867		0	35	29		0	1	1		
達成度	77%				32%				100%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.55
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,698	8,280	4,297		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,698	8,280	4,297		
物件費計	297	243	114	392	29.1%	
歳出計	5,995	8,523	4,411			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	297	243	114	392		

### 5. 総括的分析

総括的分析	地域防災の担い手が減少する中、自助・共助による防災対策の重要性を地域全体に普及させる役割を担う人材を育成するために必要な研修であることから継続した取り組みが必要である。また、研修内容の見直しや受講済者へのフォローアップなどの働きかけについても検討が必要である。令和4年度から専門的な防災の知識を有した人材育成を目的とし、地域防災推進員育成研修会を修了した地域の防災リーダー等を対象に、防災専門研修を実施した。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	新たな研修内容の模索や内容の見直しに取り組む。また、過去の受講者へのフォローアップや働きかけについても検討する。専門研修については継続事業とし、更なる内容の充実に努める。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 038

事務事業名称	防災対策事業(危機管理対策推進課)										
測定年度	2022(R4)年度			部	危機管理部			課	危機管理対策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができています									
	実行計画名	防災体制の充実									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	1982(S57)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	災害対策基本法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	全職員(災害対応に従事)			
	サブターゲット	枚方市に在住する市民及び事業者			
	ターゲットが抱える課題	災害から市民生活の安全・安心の確保を図るため、職員の災害対応能力を高める必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	災害発生時に、市役所及び職員が災害対応能力を発揮し、市民生活の安全・安心が確保されている。				
事業概要	庁内の全部署を対象とした災害対策本部訓練や、防災備蓄品及び耐震性貯水槽等の維持管理等を行い、災害発生時に市民生活の安全・安心の確保を図る。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						災害時に市民に必要物資を配付し、安全・安心を確保する。				災害時に備え、防災備蓄品の整備及び保存期限の切れる備蓄品の更新を行う。			
指標設定	指標説明					枚方市備蓄目標量(重要物資備蓄品の備蓄量)達成率 【算出式:アルファ化米と毛布の備蓄量/備蓄目標量×100】				防災備蓄品の整備及び保存期限の切れる備蓄品の更新を行う回数。			
	指標種類					増加することが良いとされる指標							
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	1	1	1	1
	実績					127.10	127.10	127.10		2	1	1	
達成度					127%				0%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.83
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	46,922	20,681	14,296		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	46,922	20,681	14,296		
物件費計	454,133	96,845	10,628	14,335	74.1%	
歳出計	501,055	117,526	24,924			
歳入	国庫支出金	0	18,329	1,430	1,485	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	6,358	1,485	1,485	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	24,687	2,915	2,970	
一般財源（物件費に充当されるもの）	454,133	72,158	7,713	11,365		

### 5. 総括的分析

総括的分析	各種倉庫で管理している防災備蓄品の整理整頓を行い適正な保管に努めた。アルファ化米(炊き出し用)などの賞味期限がある食料については、期限が切れる前に防災訓練などを行う校区等へ提供することで有効な活用に努めた。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、必要な物資の確保、適正な管理に努めていく。

事務事業名称	地域安心安全ネットワーク事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	危機管理部			課	危機管理対策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち									
	実行計画名	2-2.災害時の情報通信体制の整備									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1990(H2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	災害対策基本法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市防災会議				
事業対象	メインターゲット	枚方市に在住する市民及び事業者			
	サブターゲット	枚方市に通勤、通学している方			
	ターゲットが抱える課題	災害時に適切に情報発信・提供(雨量情報や避難情報)を行う必要がある			
	ターゲットが抱える課題	スマホ等の情報端末を有さない市民に対して、E-mailやSNS等以外で避難情報等を発信する必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	災害時に、機器のトラブルがなく、必要な情報発信・提供(雨量情報や避難情報)を確実に実施できている状態。(スマホ等の情報端末の保有如何に関わらず、避難行動要支援者を含めた、すべての市民に避難情報等が伝達されている状態。)				
事業概要	①防災行政無線システム(同報系・地域防災系)の保守点検の実施。 ②気象情報システム、土石流予警報装置、計測震度計等により日々情報収集及び情報発信を行えるよう保守点検を実施。 ③機器に故障箇所等があれば、速やかに補修を行う。 ④スマホ等の情報端末を有さない市民に対しては、プッシュ型の情報伝達手段が屋外拡声子局しかないため、情報発信手段の多重化が必要である。実際になんらかの避難行動が必要である、土砂災害警戒区域、浸水想定区域内に居住している方内、PCや携帯電話などの端末を有さない方を最優先の対象として、新たに自動音声配信電話を災害情報伝達手段として導入する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	災害への備えにつながっている。				アウトプット (活動結果)	防災行政無線システム、気象情報システムなどの機器が適正に管理されている。				インプット (活動)	防災行政無線システム、気象情報システムなどの機器の保守点検を実施する。			
	指標説明	災害時に遅滞なく市民へ情報伝達できた割合 【算出式:{(エリアメール・緊急速報メール発信回数/避難情報発信回数)+(自動音声配信サービス発信回数/避難情報発信件数)}÷2×100】				修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【算出式:決算額/当初予算額×100】				機器の保守点検を実施し、定期的な導通訓練(年5回)Jアラート訓練、緊急地震速報訓練の実施回数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	100	100	100	100	100以内	100以内	100以内	100以内	5	5	5	5		
	実績	100	100	100		94.80	92.60	102.40		5	5	5			
達成度	100%				102%				100%						

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		災害への備えにつながっている。				スマホ等の情報端末非保有者でかつ土砂災害警戒区域、浸水想定区域に住んでいる方を対象として自動音声配信電話サービスが				スマホ等の情報端末非保有者でかつ土砂災害警戒区域、浸水想定区域に住んでいる方を対象として自動音声配信電話サービスを構			
指標設定 ②	指標説明	災害時に遅滞なく市民へ情報伝達できた割合 【算出式:{(エリアメール・緊急速報メール発信回数/避難情報発令回数)+(自動音声配信サービス発信回数/避難情報発令回数)}÷2×100】				自動音声配信電話サービスの提供件数				多様な情報伝達手段の配備件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	-	100	200	500	-	9	10	10
	実績	100	100	100		-	26	37		9	10	10	
	達成度	100%				19%				0%			

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.79
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	4,157	7,857	6,171		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,157	7,857	6,171		
	物件費計	20,324	9,658	14,218	13,886	102.4%
	歳出計	24,481	17,515	20,389		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	677	2,856	2,856	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	677	2,856	2,856	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	20,324	8,981	11,362	11,030	

### 5. 総括的分析

総括的分析	災害時等における市民への情報伝達手段である防災行政無線等について、適切に設備の維持管理に取り組んだ。また、全国で一斉に行われるJアラート訓練等を通じて、実災害を想定した操作の確認を行った。防災気象情報や降水量予測等については市民に必要な情報発信を行えるよう情報収集手段を確保している。今後も引き続き、災害時等において、ホームページやSNSなどを活用し、速やかに市民に必要な情報を伝達できるよう体制を整備していく。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き通信訓練等を実施するとともに、機器等のトラブルには迅速に対応し、自動音声配信電話サービスについては市民周知を行い制度の周知に努める。

# 事務事業実績測定調査

R4調査番号 047

事務事業名称	災害情報システム整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	危機管理部			課	危機管理対策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち									
	実行計画名	災害時の情報通信体制の整備									

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	災害発生時、市民(被災者)からの被害通報に対して、迅速に対応する必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民(被災者)への電話対応・災害対応を迅速かつ効率的に実施し、市民の生命・財産を守る				
事業概要	市民の安全・安心を高めるため、迅速で正確な対応を行えるよう災害情報システムを導入するとともに、災害時に円滑にシステムを利用できるよう訓練・研修を実施する。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						職員の災害情報システム操作の理解が進む				災害情報システムの運用手順の見直しやシステム改修、職員向けのシステム操作訓練・研修を実施する。				
指標設定	指標説明					研修受講者数				システム操作訓練の実施回数				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					80(国からの累計)	40	40	40	3	3	3	3
	達成度					310%				100%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.79
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,981	7,857	6,171		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,981	7,857	6,171		
物件費計	8,286	6,600	6,600	6,602	100.0%	
歳出計	14,267	14,457	12,771			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	8,286	6,600	6,600	6,602		

### 5. 総括的分析

総括的分析	システムの熟度は高まっているが操作する職員の異動によっては利用する機能が変わってくるため、引き続き研修を実施していく。例年のシステム研修は、本部事務局員対象に1回、各部の災害情報システム利用者向けに1回、図上訓練の直前システム研修として1回の合計3回を実施した。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き適正に研修を実施していく



事務事業名称	止水板設置助成事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	危機管理部			課	危機管理対策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		1.災害に対する備えができています								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市止水板設置工事助成金交付要綱				
関係補助金名称	止水板設置費補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	止水板の購入及び設置関連工事を行う市民及び市内事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民・事業者の自助による浸水対策が進んでいない			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民・事業者の自助による浸水対策が推進され、内水被害等が防止又は軽減されている。				
事業概要	住宅・店舗等の浸水被害を軽減することを目的とした、止水板の購入及びその設置に伴う関連工事を行う者に、費用の一部を助成する。 1. 助成額 止水板の購入及び設置工事等に要した費用の2分の1とし、一敷地に対して50万円を限度とする。(千円未満切り捨て) 2. 助成対象とする工事 止水板の購入及びそれに伴う工事一式				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	助成金の活用により浸水対策が進む。				アウトプット (活動結果)	止水板の設置が進む。				インプット (活動)	枚方市止水板設置工事助成金の交付対象工事を行う者に、費用の一部を助成する。			
	指標説明	止水板が設置されている建築物件数に対する、床上浸水が把握された(災害見舞金支給件数)建築物件数				止水板等設置件数				助成金申請件数					
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	3	3		
	実績	0	0	0		0	4	1		0	4	1			
達成度					33%				33%						

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.24
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	239	2,357	1,875		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	239	2,357	1,875		
	物件費計	0	1,230	245	2,500	9.8%
	歳出計	239	3,587	2,120		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	1,230	245	2,500	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	1,230	245	2,500	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

### 5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度の止水板設置費補助制度を活用した申請は1件。ホームページや防災ガイドなどで止水板についての記事を掲載して制度の周知を行っている。今後も、市民がより使いやすい制度となるよう努める。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	制度創設時と比べ、現在は簡易的な止水板など様々な種類があるため、市民に対しこれらを紹介するとともに、市民が自ら浸水への対応に取り組んでもらえるよう啓発を進める。

# 事務事業実績測定調書

事務事業名称	消防施設等整備補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	危機管理部			課	危機管理対策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち									
	実行計画名	1-2.防災対策の推進									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1979(S54)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	消防施設等整備補助金交付要綱				
関係補助金名称	消防施設等整備補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	自治会、自主防災組織等の住民組織			
	サブターゲット	枚方市民			
	ターゲットが抱える課題	火災等の災害時に、効果的にその機能を発揮できるよう、消防施設等を整備する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内で適切に消防施設が整備されている状態				
事業概要	消防ポンプ庫や火の見やぐらの新築、改築、サイレン・ホース乾燥器具等機器の修理、貯水槽、防火水槽の新設や増設等の整備を行う住民組織に対し、補助金を交付することにより、消防施設の整備を促進し、もって市民の生命及び財産の確保に資することを目的とする。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		地域の消防力が強化される				消防施設等が整備される。				自治会、自主防災組織等、消防施設を整備する者に対し、補助金を交付する。			
指標設定	指標説明	消防施設等整備件数【累計 令和元年度より】				消防施設等整備件数				補助金交付申請件数			
		単位		件	単位		件	単位		件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	1	2	3	4	1	1	1	1	1	1	1	1
	実績	1	2	5		1	1	2		1	1	2	
	達成度	167%				200%				200%			

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.24
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,595	2,357	1,875		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	2,357	1,875		
	物件費計	700	299	783	800	97.9%
歳出計	2,295	2,656	2,658			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	700	299	783	800		

### 5. 総括的分析

総括的分析	消防団車庫等の消防施設は老朽化により修繕や建替え、車両更新に伴う改築等も見込まれるため、今後は増加することが見込まれるうえ、地域から相談があった際には速やかに対応する必要があります。また、日頃から各分団の消防団員による施設の点検を行う等、施設の長寿命化にも努めていく。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、消防施設等の整備に努める

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 926

事務事業名称	危機管理対策推進課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	危機管理部			課	危機管理対策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	庁内組織等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	-			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	危機管理対策推進課の運営に係る事務が円滑に遂行されている。				
事業概要	危機管理対策推進課の運営に係る庶務的事務の対応				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.22
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	2,357	1,719		
	会計年度任用職員	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	2,357	1,719		
物件費計	—	33,719	32,789	32,962	99.5%	
歳出計	—	36,076	34,508			
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	329	342	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	0	329	342	
一般財源（物件費に充当されるもの）	—	33,719	32,460	32,620		

### 5. 総括的分析

総括的分析	課内の運営事務を適正に執行するとともに、庁内の関係部署や消防等関係行政機関との連携を図り、災害時や緊急時の体制整備に努める。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続きより効率的な事務執行に努める。